

報 廣 しばた



児童一人一人が主役の学校

町内全域からの就学を認める小規模特認校制度が令和3年4月から始まる柴田小学校。きめ細やかな指導や教育、全児童が主役となって活躍することができる新たな制度での就学希望を受け付けています。
【10月15日(木) 柴田小学校 柴小オリンピック2020】

11月は児童虐待防止推進月間です

(令和2年度標語)

いちはやく
「189 知らせて守る こどもの未来」

あなたの気づきが
子どもの命を守ります

児童虐待により、幼い子どもの命が失われる悲しい事件が後を絶ちません。今年1月から6月までの全国の児童相談所での虐待相談対応件数は、98,814件になります。前年同時期と比べて約9千件増えていますが、表には出てこない、陰に隠れているケースはたくさんあると言われています。

11月は、児童虐待防止推進月間。私たちの身近な問題である「児童虐待」について、一緒に考えてみましょう。

問 子ども家庭課 TEL55-2115



児童虐待とは

児童虐待とは、親などの保護者（親や親に代わる養育者）が、子どもの身体や心を傷つけ、健やかな成長・発達を損なわせる行為のことです。
子どもの身体に傷を負わせる、または生じる恐れのある、または生じる恐れのある

身体的虐待	殴る、蹴る、たたく、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、戸外に閉め出す、一室に拘束する など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触るまたは触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト（育児放棄）	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティック・バイオレンス：DV）、きょうだいに虐待行為を行う など

ある暴行を加える「身体的虐待」、子どもにわいせつな行為をしたり、させたりする「性的虐待」、保護者が子どもの養育を放棄したり、保護者として子どもの監護を怠る「ネグレクト」、子どもに心理的外傷を与える言動を行う「心理的虐待」の4つに分類され、具体的には、上の表のような行為のことを言います。

虐待が子どもに及ぼす影響

虐待を受けた子どもは、身体的・知的発達の面において成長が阻害され、また、周りの人へ不信感や強い攻撃性を持ったり、自己評価が低くなったりするなど、人格形成に深刻な影響を受けることもあります。

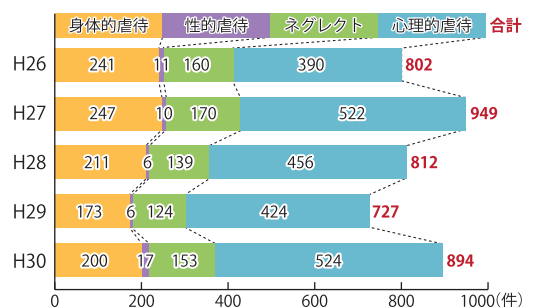
虐待が長期に及んだ場合、これらの深刻な影響は成人後まで残り、虐待を受けて育った親が、自分の子どもに虐待を繰り返すことも、高い割合で起きています。

しつけと体罰の違いは

子どもへの体罰は、今年4月から法律で禁止されました。

「しつけ」とは、社会のルールやマナーなど、子どもが自立して生きていくために必要なことが身に付けられるよう繰り返し働きかけることです。しかし、子どものためのつもりでも、その行為が子どもの身体に何らかの苦痛を引き起こし、心や体の発達が阻害されれば、どんなに軽いものであっても「体罰」に該当します。

県内(仙台市を除く)の虐待相談対応件数



子どもを虐待から守るための5カ条

(厚生労働省リーフレットより)

- ① 「おかしい」と感じたら迷わず連絡（通告してください）
- ② 「しつけのつもり…」は言い訳（子どもの立場に立って判断しましょう）
- ③ ひとりで抱え込まない（あなたにできることから即、実行しましょう）
- ④ 親の立場より子どもの立場（子どもの命を最優先しましょう）
- ⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではありません）

子どもの権利が守られ、体罰などのない社会を実現していくためには、一人一人が意識を変えていく必要があります。保護者が孤立せず子どもが健やかに育つ社会であるために、地域で安心して子育てができるよう、子育て家庭を温かく見守り、応援しながら体罰などのない社会を実現していくことが大切です。

こんなことしていませんか？
これらは全て体罰です。

- ・言葉で3回注意したけど、言うことを聞かないので、頬をたたいた。
- ・大切なものにいたずらをしたので、長時間正座をさせた。
- ・友達を殴ってケガをさせたので、同じように子どもを殴った。
- ・他人のものを取ったので、お尻をたたいた。
- ・宿題をしなかったので、夕ご飯を与えなかった。

「気づきから」しなげると
わたしたちがとどめるには

「子どもの泣き声や叫び声が頻繁に聞こえる」、「不自然な傷やあざ、やけどの痕がある」、「親の怒鳴るような叱責をよく聞く」、「物を投げつけるような音がする」など、「何か様子がおかしい」と気づいても、「相談や通報することに抵抗を感じるかもしれません」。

しかし、子どもだけではなく虐待をしている保護者自身も苦しんでいる場合があるため、通報することでも親も子どもも救うことにつながります。相談や通報は匿名で行うことができ、秘密は守られます。たとえ虐待の事実が無かったとしても責任は問われません。

あなたの「気づき」で、守られる命、救える家庭があります。

連絡先

子ども家庭課

Tel 55-2115

子育てに不安や悩みがあるときは、どうか一人で抱えこまないでください。

「こんなことを相談していいのかな？」などと思わず、どうぞ気軽に自分の気持ちをお話ししてください。

児童家庭相談 悩みを抱えた子育て世帯の児童・家庭の相談

- ・子ども家庭課 Tel 55-2115
(受付日時) 月・火・木(祝日除く) 9時～16時

子育て世代包括支援センター事業 子育てに関する相談や情報提供

- ・柴田町子育て支援センター (船迫こどもセンター内)
船岡字若葉町10-16 Tel 55-5541
(受付日時) 月～金(祝日除く) 9時～16時
- ・健康推進課 Tel 55-2160
(受付日時) 月～金(祝日除く) 9時～16時



仙南保健福祉事務所
母子・障害班
Tel 53-3132

児童相談所虐待対応ダイヤル
Tel 189
24時間対応

子どもの生命に危険がある
と考えられるときはすぐに
110番(警察)へ



問まちづくり政策課 ☎54-2111

柴田町のフットパスコースを紹介する「まちを歩こう」の第6回目を、柴田フットパスでは、地元の人たちの協力のもと、16のコースを設定して、これまでに13コースを紹介してきました。今回は、船迫西と葉坂の2コースを紹介します。

船迫西コース
約6・8km

船迫地区の西側、散歩道や川の堤などの自然を感じながら住宅街の外周を周るコースです。

西船迫一号公園から入る散歩道は、土と落ち葉の道を踏みしめて雑木林の中を歩くことができます。そしてもう一つ、明るい景色が広がる白石川左岸の堤は、春、秋のウォーキングに向いています。スタート&ゴールを船



西船迫一号公園内の木のトンネル（写真左）とそこから続く鹿野緑地の散歩道（写真右）

岡駅に設定していますが、船迫生涯学習センターを起点にするのも便利です。距離が長くアップダウンも多い。



いため、体力や状況にに応じ短縮するなどしてコースをアレンジしてください。

※葦神山は、昨年の台風19号の影響で現在も登ることができません。



船迫・葉坂 フットパスコース



扇状に立ち並び縦に裂けた拆石神社の巨岩



大きな赤鳥居が目を引く拆石神社

葉坂地区は柴田町の中でも古くから開けた地域の一つです。水田が広がる中、巨岩や奇石を巡るコースとなっています。コース中の大きな見どころの一つが拆石神社。農免道路沿いの大鳥居と杉の巨木が目印で、境内の奥にある巨石群に圧倒されます。

葉坂コース
約5・8 km



もう一つの見どころが、カエル型の巨岩「びつき石」。巨石がカエル型に見える角度やポイントを探すのも面白いのではないだろうか。



石にまつわる民話も語り継がれているびつき石

今後のフットパスイベントの予定

- ・ 11月10日(火) 紅葉の海老穴コース
- ・ 12月1日(火) 槻木宿コース
- ・ 令和3年2月16日(火) 船迫宿コース
- ・ 令和3年3月16日(火) ミステリーコース

詳しくは、柴田フットパスホームページをご覧ください。
(<https://www.shibata-footpath.jp/>)



柴田のまちを歩いてみませんか

柴田町は、平地と丘陵のメリハリがあり、街中から川や里山が近いいため、歩いて楽しいまちです。きれいな花を見ることができ、歴史や生活の積み重ねが感じられるスポットも歩く楽しさを増してくれそうです。これまで「まちを歩こう」で紹介してきたコースそれぞれを皆さんの好みに合わせて、趣味や健康、学習などさまざまな用途にお役立てください。



柴田町長 滝口 茂

11月の風物詩といえ、なんといつても「七五三」。ついでこの間、孫の七五三を祝ったと思ったら、あつという間に小学一年生。あまりにも早い孫の成長ぶりに、ただただ時の過ぎ行く早さを思い知るばかりです。

私たちの年代からすると、目に入れても痛くないほどかわいい子どもたちなのに、なぜこうも親からの虐待やネグレクトなどで、悲しくつらい目に遭う子どもが多いのか。わが国は、いつからこのような凄惨な虐待事件が後を絶たない社会となってしまったのだろうか。こうした報道を目にするたびに、やり場のない憤りを覚えてしまいます。

幸い、柴田町の子どもたちは、素直でたくましく成長しているように思えます。例えば、各学校へのエアコンや洋式トイレの設置工事が終わった際には、生徒会の皆さんが、町長に感謝のメッセージをわざわざ届けてくれたり、桜まつりの開催の前に多くの観光客に、きれいな景観の中でお花見を楽しんでいただきたいと、清掃ボランティアに参加してくれています。また、さくらマラソン大会の際には、大黒舞や吹奏楽でランナーを応援してくれるなど、柴田町の一員としてさまざまな場面で活躍してくれています。

デジタル社会に生きる子どもたち

こうした子どもたちが、来るべきデジタル社会においても、自立して活躍できるように育てていくのが、私たち大人の責務ではないかと思っています。今回、国の「GIGAスクール構想」に基づき、教育現場でのデジタル学習環境の整備を加速することにしました。

まず、一人一台、約3,000台のタブレット端末を用意し、どんな境遇にある子どもであっても、みんなが同じ条件で情報スキルを磨けるようにします。また、先生方がICTを活用したデジタル学習に向け、きめ細かな指導力を発揮できるように、研修体制も強化しています。先生方には、ぜひとも、デジタル教材や動画を活用し、わかりやすい授業やオンライン学習を行っていただき、子どもたちの学ぶ意欲や学力、そしてコミュニケーション能力を育ててほしいと思っています。

一方、子どもたちには、パソコンの基本操作をしっかりと身につけていただき、デジタル社会を生き抜くためのデジタル読解力や創造力、さらにチャレンジ精神を養ってほしいと思います。そして、大人に成長した際には、情報スキルを駆使して多くの人とつながり、「共に生きる」価値観を共有する中で、子どもに対する痛ましい事件が起きない、思いやりに満ちた社会を築いてほしいと願っています。

芸術空間 Shibata Art Gallery No. 10

航記『宙の夢』そら (陶芸)

太田 正孝

私の造形は言うなればパーソナルアート。より個人的な心象世界でしか視る事の出来ない形を立体で表現しています。心象世界を旅する航程で視る世界を注意深く心に留め、証としてその断片を切り取る作業をすなわち形として表し記録しています。初めは旅する乗り物を創造します(立体とデザイン)。舟の様な乗り物が出来上がれば旅の始まりです。そこで視る心に強く残った物を切り取り形にする訳です。



太田 正孝 (おたまたか)

●1979年柴田町に倒煙式角窯築窯。1982年思太田窯開設(村田町の山中に窯築窯)。県内外の百貨店、ギャラリーでの個展多数。大学陶芸講師、美術材料店アートスクール陶芸講師、他講師多数。村田町「蔵の陶器市」「ふれあい芸術in村田」を企画。しばたの郷土館、村田町歴史みらい館、韓国全州全北藝術會館、石巻市雄勝硯伝統産業會館、蔵王町伝統産業會館等の企画展に出品。



健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第73回のテーマは、「栄養バランスのよい食事を取りましよう」です。

朝晩の寒暖差が大きい季節となりました。これからの寒さに負けない体をつくるため、栄養バランスの取れた食事を心掛けましょう。特に、毎日の食事で不足しがちな野菜やきのこ、海藻類には、体の調子を整える働きがあり、積極的に取り入れたい食材です。

1日3食、栄養バランスよく食べることが基本ですが、まずは無理なく1食分から意識してみましょう。

栄養バランスのよい食事とは

主に炭水化物によるエネルギー供給源となる「主食」、主に良質なたんぱく質や脂質の供給源となる「主菜」、主食、主菜で不足するビタミン・ミネラル・食物繊維の供給源となる「副菜」を組み合わせた食事のことです。



お膳の形にすると、見た目も栄養バランスもよい食事になります。

プラス副菜で栄養バランスアップ

栄養バランスが偏りがちな単品料理には副菜を組み合わせることで、栄養バランスが整います。

例えば…

<p>かつ丼</p>	+	<p>副菜 ひじき煮</p>	<p>パスタ</p>	+	<p>副菜 サラダ</p>	<p>サンドイッチ</p>	+	<p>副菜 具だくさんスープ</p>
------------	---	--------------------	------------	---	-------------------	---------------	---	------------------------

栄養士からのアドバイス

- 家庭の食事や外食の際に副菜をプラスすることから始めてみましょう。
- 生野菜が苦手な場合には、具だくさんスープや温野菜を利用することもおすすめです。
- 副菜は1日5皿（小鉢や小皿）を目安に取り入れましょう。

広 告

広 告

まちかど NEWS



年長組は難しい振り付けも完璧にこなしていました。



かけっこでは最後まで諦めずに走りました。

ドキドキわくわくの運動会

NEWS

9月26日(土)、町内の各保育所で運動会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年齢ごとに子どもたちと保護者を入れ替えるなどの対策を講じた上での開催となりましたが、子どもたちはこの日のために練習してきたかけっこやお遊戯を、元氣いっぱい披露してくれました。

船岡保育所の後藤冬音ちゃん(5歳)は、「よさこいの船を漕ぐ振りのところをかつこよくがんばりました」と話してくれました。

遺跡発掘現場を見学

NEWS

9月11日(金)、船迫中学校の1年生が、葉坂地区のほ場整備区画予定地で進められていた、埋蔵文化財発掘調査の現場見学に訪れました。

発掘では、古墳時代前期(3〜4世紀)の竪穴住居や縄文時代から平安時代までの土器が出土し、生徒の皆さんは、遺跡を見て触れて、歴史の知識を深めていました。

黒澤徹真さんは、「自分が住む町で遺跡が発掘されていることをうれしく感じます。初めて見たので、貴重な体験でした」と話してくれました。



発掘された遺跡に興味津々でした。

広 告

広 告

（仮称）総合体育館建設予定地造成工事見学会

10月6日（火）、（仮称）総合体育館建設予定地造成工事の見学会が、地域住民の方々に招いて行われました。

参加者は、間近で工事の様子を見学し、工事を実施する陸上自衛隊船岡駐屯地の隊員や町の担当者から、現在の状況や今後の工事の予定などの説明を受けました。

佐藤正喜さん（上大原）は、「騒音など、周囲への影響を考えると工事が進められていることが分かりました。事故の無いように頑張ってください」と話していました。



工事は予定通りに進み、住民の皆さんも安心していただけました。

通学路の危険箇所を点検

10月7日（水）、8日（木）に、スクールガードリーダー、警察、町が合同で、児童生徒の登下校時などの安全確保を目的に、通学路の点検を行いました。

見守り隊の方などの情報から、危険と考えられる現場を中心に、改善策などを検討しました。

スクールガードリーダーの齊藤鉄太郎さんは、「通学路の問題点などを解決するため、関係機関が連携し、取り組んでいることが分かりました」と話していました。



西船迫3丁目の西船迫保育所付近の丁字路など、2日間で17地点を点検しました。

第1区「おしゃべりの場」

10月14日（水）、第1区集会所で、「おしゃべりの場」が行われました。

「おしゃべりの場」は、区民の皆さんが気軽に集まり、自由におしゃべりや好きなことをして過ごしてもらおうと昨年7月から始めました。この日は、皆さん声を掛け合い、トランプやオセロ、将棋などを行っていました。

檀崎國男さんは、「皆さんとおしゃべりなどをするのが楽しみで、毎回参加しています。このような場があることは良いことだと思います」と話していました。



和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしていました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

川柳

俳句

金婚を祝ってくれる子と孫等
秋保の宿のにぎにぎし夜や 船岡 可沼 妙子
突然に友が旅立ちはかなき命
前夜の会話思いめぐらす 西船迫 下浦 智子
国調でたずねる家の差し入れは
ひやつこいお茶つこあつたか人情 四日市場 鳥井崎七十老
初夏の空白く輝く山百合が
茂みに咲きて風揺れ匂う 槻木 白石 光子
医者帰り稲刈り終えし農道に
トンボすいすいいなこピョンピョン我を迎える 船岡 大庭 とみ

たまに行く人の集まり大都市は
なぜか怖いよコロナを思えば 西船迫 安ヶ平良三
又しても豪雨の凄さ見せつけて
天と地の差置いて行くなり 船岡 伊藤タイ子
見渡せばたわわに実る稲穂見ゆ
心豊かになりて帰りぬ 船岡 沢田 順子
図書館の絵本を今日も見てる孫
その度毎に読める文字増え 本船迫 森田 眞六

彼岸花紅白咲きて競い合う 西船迫 H・G
松の木もハサミ入れられハンサムに 船岡 阿部美代子
地についたマスクファッションのおもいやり 西船迫 舟廻めぐる
コスモスのゆれてかすかな風見ゆる 槻木 加藤 マサ
経済が前進後退コロナにて 西船迫 安ヶ平良三

楽天が勝てば明日はいい気分 船岡 小林 夢子
ふり返る時なく過ぎて八十坂 槻木 加藤 節子
秋の香り気持潤おす金木屋 槻木 大宮広四郎
義理堅い正直者は詐欺の的 槻木 平間 三郎
鮭帰るふる里の川子に繋ぐ 槻木 村上 紫寿

コロナ禍で菊人形のない館 可沼 妙子
旧館の軋む廊下や穴惑 船岡 石母田星人
熱燗や古き手紙に残る染み 鎌形 清司
しぐれ虹ボジョレヌーボー解禁日 齋藤 善則
初雪や泥の乾かぬ瓦礫山 鈴木 三山
初時雨道案内の手信号 鈴木 清子
里神楽つまづき乍ら佳境へと 鈴木 幸子
草の名を聞いて忘れて花野徑 相馬カツオ

長き夜の憂鬱ハーブティーの濃く 峠 三枝子
台風の押しつぶしたり農の夢 吉田 啓子
湧き水や肌へ温もり冬近し 槻木 平間 三郎
ぬばたまの闇にさぎめく稲穂波 四日市場 鳥井崎七十老
いちぢくの塀の外へと熟れたり 西船迫 佐藤 厚子
老春の過ぎ行く早さ秋匂う 船岡 安藤 節子
三つつ四つ拾い集めて栗ごはん 西船迫 安ヶ平奈津枝
菊の香や天下の季節を知らしめる 西船迫 飛鳥

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで11月12日(木)までご応募ください。 図 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



地域貢献し隊

本校では、日々の学習や学校行事、登校時の街頭指導など、さまざまな場面で、多くの地域の方々にご支援をいただいています。また、昨年度から「地域と共にある学校づくり」を目指して、コミュニティ・スクールとしての活動も始まりました。地域からの期待、信頼、励ましに応えるために、地域に貢献する活動を通して感謝の心を育てながら、学校と地域の連携をさらに深めていきたいと思っています。

1 大黒舞

ふるさと教育の一環として、地域に伝わる「大黒舞」を継承しています。地元の祇園入社中の方の指導を受け、6年生が中心となり練習を重ね、学校行事や町内のさまざまなイベントで発表しています。春は「柴田さくらマラソン」の沿道応援や地域との「合同運動会」。秋は、「招福まつり」や「しばた産業フェスティバル」。そして冬は「槻木駅イルミネーション点灯式」、「ふるさと交流のつどい」と、たくさんの発表の機会をいただいています。また、3・4年生の福祉施設訪問でも、お年寄りの方々に披露し大変喜んでいただいています。柴田小学校と言えば大黒舞と言われるほど定着している活動で、ふるさとを大切に思う気持ちを育てる大切な伝統です。



さくらマラソンで披露した伝統の大黒舞

2 隣接幼稚園との交流

毎年1月に、お隣の第二たんぼ幼稚園の園児（年長）を学校に招き交流活動を行っています。2年生が企画から運営までを行い、クイズやゲームで楽しんだ後は一緒に給食を食べます。小学校に入学して1年経過した2年生にとって、園児のお手本となってお兄さんやお姉さんとして活躍することで、自信を持って行動する力を身に付けています。また、幼稚園以外でも、槻木小学校との6年生同士の交流会、槻木中学校での部活動見学会や、合唱による交流会などを行うことで、同じ地域の学校としての絆を深めています。



2年生と園児がクイズやゲームで交流

3 通学路清掃・資源回収

全校児童が集団下校しながら、通学路のごみ拾いを行う「クリーン作戦」を毎年1回実施しています。通学路は、普段から地域の方が、花を植えたり、歩きやすいように除草してくださったりしています。そんな地域の皆さんの思いに対する感謝の心と、自分たちのふるさとの環境を守ろうとする思いを育てるために行っています。

夏休みには、PTAの行事として「資源回収」が行われ、子供たちは保護者に混じって搬入や仕分けの手伝いに汗を流しています。年に1回の回収日には、地域の方々が子供たちのために1年間保管してくださったびんや古紙がたくさん集まり、子供たちへの温かい思いが感じられる活動となっています。



クリーン作戦での通学路のごみ拾い

〔柴田小学校長 栗野 和彦〕



柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。

QRコードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 Tel.54-2111



広 告

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。

水処理で自然環境の保全に貢献したい

株式会社中央特殊興業宮城営業所

穴戸 修二さん（39歳・写真右）

佐藤 嘉和さん（36歳・写真左）

産業廃棄物の収集運搬、浄化槽の保守点検などを手掛ける(株)中央特殊興業宮城営業所の穴戸修二さんと佐藤嘉和さんをご紹介します。



穴戸さんは入社9年目で、ガソリンスタンドの油水分離層の汚泥の引き抜きや飲食店のグリーストラップの清掃、また、主任として現場の取りまとめを行っています。佐藤さんは入社3年目で、穴戸さんと同じ業務のほか、浄化槽の清掃・保守点検にも携わっています。

お二人とも、特に安全面に配慮しながら仕事をしているそうで、穴戸さんは、「排水処理施設に蓄積している汚泥の引き抜きや清掃で、槽内に入りますが、酸素濃度が低かったり、硫化水素が発生する場合があります。常に危険が伴います。常に計器での数値確認と社員同士で安全確認の声掛けを行いながら作業を進めています」と話し、佐藤さんは、「浄化槽の点検・清掃の際も周囲の安全確認を徹底して行い、お客様の建物やお庭などに傷をつけないように気をつけています。また、清掃中は浄化槽に誤って転落しないように十分注意しています」と話します。



汚泥の抜き取りを行う穴戸さん。



浄化槽の保守点検を行う佐藤さん。



株式会社中央特殊興業宮城営業所
柴田町大字船岡字大森1-21
TEL51-8740

昭和49年設立(本社山形県)。平成27年に柴田営業所を設立し、令和2年に宮城営業所へ名称変更。産業廃棄物の収集運搬および排水の中間処理、水質検査、町内の浄化槽の点検および清掃などを手掛ける。従業員8人

仕事への思いについて、穴戸さんは、「清掃する前と後で、目に見えて変化があるのが嬉しいところです。昨年の台風19号で泥が堆積した側溝の清掃を行った際に、近くにお住まいの方から、とても喜んでいただきました。そういった声をいただくと、もう一步、二歩、きれいにしようと思いますね」、佐藤さんは、「上司から目に見える所をきれいにするのは誰にでもできる。目に見えないところまできれいにするのがプロの仕事だと教えられました。それを心に留めて仕事をしています。また、仕事を通して自然環境の保全に貢献できている事にやりがいを感じています」と話してくれました。最後に、穴戸さんは、「管理職として職員を引っ張っていきたい」、佐藤さんは、「少人数なので、オールマイティに仕事をこなすことができるようになりたい」と今後の目標について話してくれました。これからも頑張ってください。

人口と世帯数
(令和2年10月1日現在)



37,597人
(前月比28人増)



18,775人
(前月比25人増)



18,822人
(前月比3人増)



15,989世帯
(前月比22世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。